

かつて村松貞次郎先生がかかわっておられた明治建築物展示村。
 域内は5つのゾーンに分かれており全部歩いて回るには広すぎる。
 バス、市電、機関車が走っている。5丁目が一番奥で東京駅まで機関車が走っている。帝国ホテルの玄関ホールが移築されており、フランクロイドライトの建築の粋を見ながらお茶を飲むことが。その外には
 隅田川新大橋の一部が移築された関東大震災の当時服部警視が市民を誘導したことがしのばれる。ハワイやブラジルの移民の住居も展示され日本人の苦労や手仕事伝わってくる。1丁目には大井商店があり当時の牛鍋を楽しむことができる。

